

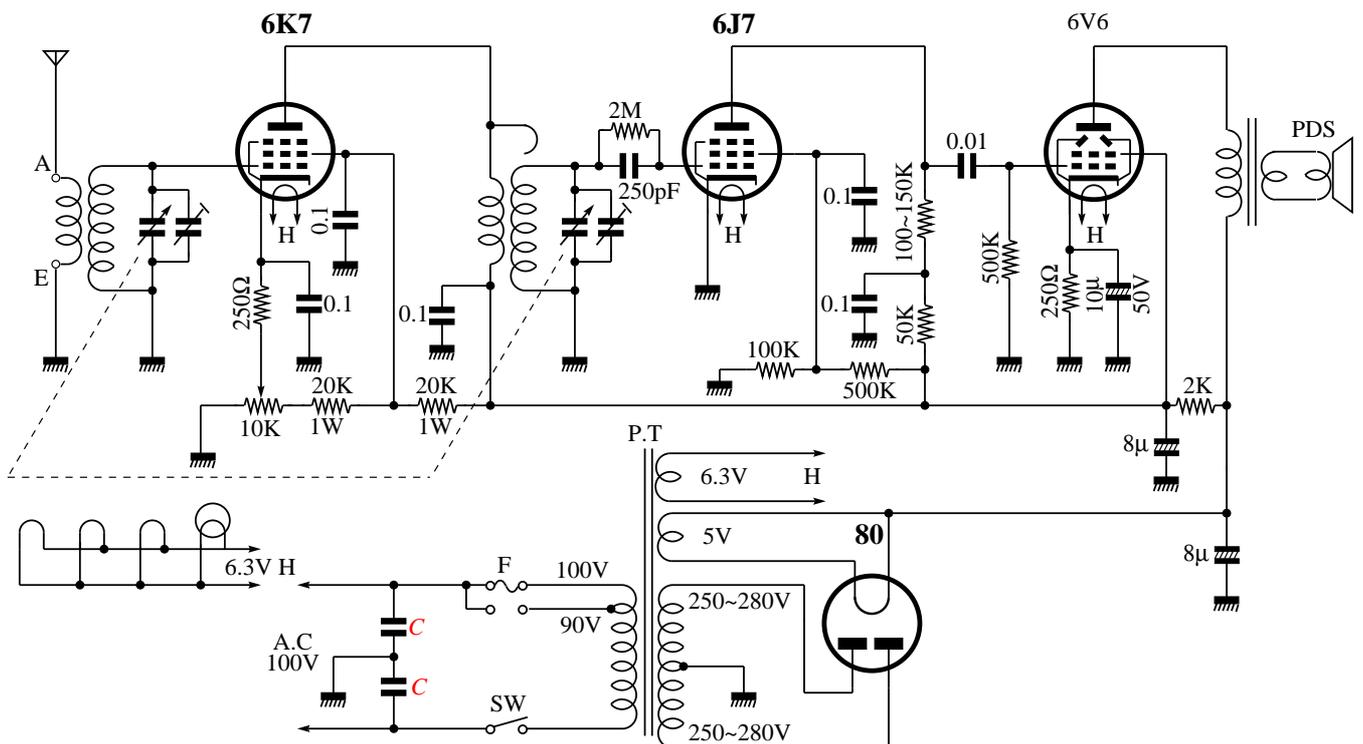
第1号高1試作

松山亥三郎

三田無線の茨木悟氏からラジオ熱を初めて吹き込まれたのが10数年の昔である。という^{さそ}と嘘かし大した腕前なのだろう或は今では茨木氏以上の実力かも知れないと思う人もあるかも知れないが実は最近生れて始めて鉱石セットを組みその余勢に乗じて矢継早やに高1を攻略しその体験を此処に発表するというのであるから我ながら不思議千万である。

ではそれまでの年月即ち10数年引く半年間は何をして居たのかという其処がインテリの悪い癖で本を読んでいたのである。最初は放送協会¹の技術教科書²を繰返し十数度読み、読めば読む程判らなくなったので、一心発起して高等学校時代から持ち古して来た森総之助著物理学電気篇³を数度読み返し、益々判らなくなると同時に慾深くなり丸2カ年程微積分学の復習に費やし、それから交流理論を1年程やってから戦争中のブランクが丸3年、終戦と同時に武田行松氏の無線工学⁴から関英夫氏の無線工学⁵、その傍ら「無線と実験」「ラジオ技術」「ラジオアマチュア⁶」「ラジオ科学⁷」「電波科学」「初歩のラジオ」の数誌を通読して来たのである。

その結果何でも判ったような気もするし、その癖は^{おじけ}何も判っていないという妙な気持ちに追込まれ、怯気ばかり付いて手も足も出なくなったというのが正直な打明け話である。見兼ねた茨木氏が「何でも私の工場にある物は全部あげますから兎に角1台組んで見なさい」と切に忠告されるので、^{ようや}漸くその気になり空病室を一つ潰して数日にして小ラジオ工場を作り上げ複同調回路式鉱石セットを組んで見た処が中々分離もよく音質も万更捨てたものでもないので、^{にわ}俄かに気が大きくなり急ぎ足で取付いたのが此処に書く高1試作1号という次第である。



第1図

第1図のように6K7-6J7-6V6-80というラインアップ。京橋にいる友人への贈物にする目的であるしコイルは三田無

¹日本放送協会 (NHK)

²日本放送協会発行の『ラジオ技術教科書』のこと。戦前から発行され、改定を繰り返して戦後も発行された。

³明治から大正にかけて活躍した物理学者。『最新物理学講義』『実験及比理論物理学』『中東物理学教科書』『物理解説』『物理学』『物理学講義実験法』『力学』などの著書がある。ここで言及されている「物理学電気篇」は、『物理学』の第5冊「電気篇」のことか。本文は、国会図書館のデジタルライブラリーで読むことができる。

⁴武田行松『解説無線工学』のことか。

⁵山本勇・関英男著『無線工学』のことか

⁶科学出版社から発行されていた雑誌『ラジオ・アマチュア』。1950年に休刊。

⁷ラジオ科学出版社から発行されていた雑誌。1961年に休刊。

線製の Q50 と云うもの故感度よりも音質をよくするために再生なしのプレート検波とした。

愈々配線にかかるとなると又ゾロ何となく怯気が付いたので此処 4 年間の前記雑誌を引張り出し配線に関する記事という記事を読み直した上で愈々半田鑊を手にしたが、やり出すや否や無性に先を急ぐ馬車馬気分に掻き立てられ徹夜同様に馬力をかけて組み上げ、さてと一息入れて見直すと、折角頭に入れた配線注意事項等糞を喰えと云わん計りの芋蔓配線ではないか誤配線の有無を再検する事さえ気がすすまず、只々溜息をつき乍ら眺めているのみである。夜が明けると 75 才の老母が「もう出来たのかい」と嬉しそうにいう、気をよくしてニヤニヤしていると「お父さん! まだ出来ないでしょう」。此れは 19 才の伴である。「出来たとも」とやり返しては見たものの実は心中大ギャフンである、其処に茨木氏から「出来ましたか、鳴りますか」との電話である。悲喜交々とは此の事に違いない、仕方がないから「兎も角も出来たようです」「出来たようだとどういう意味ですか」「いや出来たんです、でも電気を通すのが恐ろしいのです」「じゃ今すぐ行きましょう」。と電話が切れた。

待つ間程なく茨木氏の笑顔が玄関に現われる「ほう中々最初の作品としては上出来ですよ、早速電気を通しましょう、」と人の気を知ってか知らいでか上機嫌である。パチリとスイッチが入る。耳を澄ます数秒、プーンと烈しいハム、「ああ此れは何処ぞバイパスを忘れた所がありますな、ここでした」と茨木氏の両手が器用に動く、忽ちプーンが消えた。感心して見とれている。茨木氏の指が 6J7 のグリッドに触れると途端にギヤー、又 6K7 に触れると途端にギヤーギヤーギヤーはラジオの産声に違いないと思っていると、続いて素晴らしい進駐軍⁸の音楽が耳に飛込んで来ました。

最後に大事な結論を簡条書的に申上げる。

1. 理論も大事だか余り理論に拘泥せず楽な気持で実地にぶつかる事
2. 配線注意事項も結構だが高一定程度では配線を誤らない限りは心配しないでよい。
3. ハンダ付けは極力慎重丁寧にする事

PDF 化にあたって

本 PDF は、

『初歩のラジオ』1950 年 6 月号
を元に作成したものである。

PDF 化にあたって、

旧漢字は新漢字に、仮名遣いは新仮名遣いに変更した。漢字の一部には振り仮名をつけた。

脚注は原記事にはないが、読者の便宜のために今回新たにつけた。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館 (<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>)

に収録してある。参考にしてほしい。

⁸日本に駐留していたアメリカ軍向けの放送。現在の FEN。